

第31回となる地域ふれあい芸能まつりが、白水小学校体育館において開催されました。芸能部門では、個人や団体の方々による和太鼓・日本舞踊・新体操・フラダンス・ダンス・アコースティックライブ・吹奏楽など、9演目が披露され、来場者のみなさんも大いに楽しまれていました。

作品展は、43名+9団体による書道・絵画・手芸・ちぎり絵・生け花・写真など、たくさんの力作が展示され、みなさんが熱心に鑑賞されていました。



▲43名の個人と9団体の方々の作品

和太鼓



▲はくすい太鼓 飛翔の皆さんにより、夢千鳥、大河、NO・RO・SHIの3演目が披露されました。体育館に響き渡る太鼓の音とリズムに加え、躍動感あふれる動きにも圧倒されました。

フラダンス



▲JPマスかなめの皆さんにより、フラダンスが披露されました。伝統的なフラダンスに加えて、ポップスの曲に合わせたダンスもあり、聞き覚えのある曲に自然に身体が動いている方もいました。

吹奏楽



▲大同大学大同高校吹奏楽部フルオーケストラの演奏が体育館に響きました。皆さんが知っている曲や、パフォーマンスを組み合わせた曲など、楽しませる工夫がされていて、皆さん大きな声援と惜しみない拍手を送りました。

参加者の声

- ・絵手紙は楽しいけど、嫌なときもある。思うように書けないので嫌だと思うけど、月に2回出かける理由になるので、健康のためにもできるだけ出かけていくようにしている。
- ・消しゴム印を作って出品しました。以前は先生がいたけど、今は5人の同好会。道具が重くて持ち運びが大変。いつまでできるかしらね。
- ・大同高校吹奏楽部の演奏が大好き。3月に金山で演奏会するから、絶対に行きます。

主催者の声

- ・以前は体育館が満杯になるほど人が集まった。今は人口も減っているので仕方がないと思うが、出品する人、出演する人、見に来る人、皆が楽しんでくれるイベントであれば、やる意義はあると思っている。